



こころのねっこ

園長 川合健生

9月、暦の上では秋ですが、まだまだ酷暑が続きます。
9月10日は双葉の園の創立記念日です。いまから
94年前はきっと、9月はもっと涼しかったはずですね！

この8月も卒園児の小学生が夏休みボランティアにきて
くれました。小学5年生と2年生の兄弟のお兄ちゃんもその一人。「懐かしいなあ」「ど
じょうの水槽がなくなっている！」と久しぶりの保育園を懐かしがりながら、幼児のクラ
スに入りました。お話し好きな彼のまわりにはこどもたちが自然と集まってきて、ひかり
組では小学校のことをいっぱい話してくれました。「楽しいことがたくさんあるよ」「給
食は全部食べないでいいんだよ」など、すごくポジティブな内容を伝えてくれました。担
任も、大人が伝えるよりもリアルな声！と称賛。しっかりと、楽しみながら、ボランティ
アの役割をつとめてくれて、頼もしさを感じるとともに、うれしい気分になりました。

また、8月中旬、今から70年前の卒園児の方が、たまたま近くに用があったついでと、
園を訪ねてくれました。背の高いメガネの先生がいたな、園での昔ばなしに始まり、遠い
記憶を手繕り寄せるように、自分の幼少期の様子を思い出しながら、お話をされました。
双葉の園はもうすぐ100周年なんです！とお伝えしたら、昔の写真があつたら送って下
さる、とおっしゃってくれました。

保育園がずっと存続することの意味は、こうした巣立った方々の様子を知る機会に恵ま
れることで、感じられるものなのだと思います。自分の人生のスタート時期をここで過
ごしたことが、こころのねっことなって、やがて大人になり、おぼろげに、あやふやに
なっても、しっかりとこころの奥底に記憶や感覚として刻み込まれ、時にその人の人生を
支えることもあると、私たちは信じています。

いろんなものをつくったこと、飼っていた生き物、友だちとのおしゃべり、そばにいた
せんせい、大好きだった場所、給食のにおい、夏の暑さ、虫の声、風の音・・・一人ひと
りのいまが、いつかのこころのねっことなるよう、日々の関わりを大切に、95年目を迎
える双葉の園の保育を続けていきたいです。

9がつのよてい

- ・創立記念日：10（水）
- ・創立94周年記念講演会：13日（土）
☆たくさんのお申込みありがとうございました！
- ・内科健診：19（金）
- ・アートのじかん（ひかり）：3・10・17・24（毎週水）
- ・アートのじかん（はな）：2（火）9（火）30（火）
- ・アートのじかん（にじほし）：16（火）
- ・制作教室（ひかり）：4（木）
- ・制作教室（はな）：18（木）
- ・りくさんのじかん（幼児）：11（木）25（木）
- ・年長交流会（ひかり）：26（金）

おめでとうございます!!

非公開

9がつ
うまれの
おともだち



8月のトピックス

戦後80年、 平和への願い

双葉の園では今年も8月6日
の広島原爆投下の日と15日の終
戦記念日に際して、3歳、4歳、5歳
クラスで絵本の読み聞かせを行
いました。こどもたちは真剣に話を
聞きながら、それぞれの感想を
持ったと思います。また0歳、1歳
2歳クラスでは、職員の手による
平和への願いの掲示を作成しまし
た。各クラス、職員一人ひとりの願
いや思いを言葉にして、伝えてい
ます。平和について考える、語り合
う時間をこれからも大切にしてい
きたいと思います。



にじ・ほし組『ほくがラーメンたべてるとき』(長谷川義史)/
はな組『へいわってどんなこと?』(浜田桂子)



ひかり組
『わたしの「やめても」』
(自由と平和のための京大有志の会)

調理保育 & スペシャルおやつ！

トマト10個
集まつた！！はな組
では先月のケチャップづくりに続いて今月はトマトソース
づくりを行いました。給食室の荒武
さんによる調理実演、畑で収穫した
トマトをつぶし、調味料を入れて、煮
詰めています。「いいにおい！」と
こどもたちの声。



手作りのソースは
おやつの時間の
ピザトーストに使
われました。おい
しかったね！



13~15日、夏の
スペシャルおやつ
でした。13日は
ウインナーロール、
14日は金魚すくいゼリー、15日はコ
コアアイスでした。金魚すくいゼリー
は給食室メンバー総出で金魚の型抜
きをしました。その数
なんと、900匹！こども
たちに夏らしさを届け
てくれました！



今月のうた・あそび

ひよこ

いちご
みかん
もも

こじか
りす
うさぎ

にじ
ほし

はな

ひかり

【うた】「どんぐりころころ」「まつぼっくり」「とんぼ
のメガネ」わらべうた「にぎりぱっちり」「うまとし
とし」「いっぽんばしこちよこちよ」「おすわりやす」…
【あそび】触合い遊び、感触あそび、水遊び、絵本…
★引き続き水遊びと、小園庭に行ける子が増え
てきたので、虫や植物にも触れていくたいです。

【うた】「いぬのおまわりさん」「山の音楽家」「おつき
さまえらいの」「げんこつ山のたぬきさん」「てをた
たきましょ」「とんぼのメガネ」/わらべうた…
【あそび】水遊び、虫探し、粘土、探索遊び、絵の具、
ままごと、四連パック、人形あそび、見立て遊び…
★友だちと一緒に遊ぶことの楽しさを感じ始めて
います。自分の気持ちもしっかり表現しています。

【うた】「コオロギ」「おつきさまえらいの」「大きな栗
の木の下で」「とんぼのメガネ」/わらべうた…
【あそび】水遊び(泡、色水)、感触遊び(絵の具、米粉粘土)、
ままごと、積木、電車、4連パック、パズル、お絵かき…
★遊びの選択肢が増えています。友だちと一緒に
遊ぶことを共有しながら、好きな遊びを遊びこんでいます。

★ ささえるひと★

保育補助：小林 康子

双葉の園保育園に勤めて今年で6
年目となります。はじめはオープン
したての小さい花の家のサポートを
させていただきました。2年目から
1歳クラスの保育に入り、その後
2歳、3歳クラスを受け持ち、現在
は3歳クラスを担当しています。そ
れまで主婦だった私にとって、こど
もたちとともに過ごす時間はかけが
えのない時間であり、勉強にもなる
こともたくさんあります。これから
も体力の続く限り、いっしょにこど
もたちのそばで働いてみたい、と思
います。

ここ数年、自家製の甘酒とヨーグ
ルト作りを続けています。甘酒は麹
から、ヨーグルトは牛乳から、手作
りで作ります。毎日欠かすことなく
食べて、健康を維持していきたいで
す。



発酵パワーでよい朝を！

自由と成長

「自由」という言葉は美しい言葉です。

しかし実際に子どもの育ちと自由を考えてみると中々難しい問題に直面します。

自由とは何でしょうか？

何からの自由でしょうか？

自由に遊ぶということはどういうことなのでしょうか？

人は生まれながらにして自由な存在であるべきですが、
本当にこどもたちは生まれながらにして自由なのでしょうか？

生まれたばかりのこどもたちを見てみてください。

まだ話もできませんし、言葉もしゃべれません。

この子たちは自由でしょうか？

いえいえ、この子たちは機嫌が良ければ笑い、
お腹がすくと泣いて訴えることはできますが、
自由にどこにでも行けるわけではありません。

何をするにも人の助けが必要です。

やがて成長していく過程で、父母や兄弟、友だち、保育士との関わりを通して
言葉を覚え、危険やルールを学び、その力を土台にこどもたちは
自由に動ける範囲を広げていきます。

つまり、子どもは生まれながらに完全に自由なのではなく、
関わりや経験を通して自分で選べる自由を少しずつ獲得していく存在です。

だからこそ私たちは、子どもたちが自分で選択出来る保育を目指しています。

選択の幅＝可能性が大きければ、子どもたちは自分で遊びを見つけ出し、
積極的に遊びを創り出すことも出来るようになります。

自由な選択が出来ると、自分で考え自分で決定することが出来るようになります。
双葉の園は、子どもの自由と選択の機会を大事にしています。

自由を求めて！

理事長 西大記

※2018年会報91号より抜粋、一部編集